

# 事業計画書記載要領

## I. 事業計画書の構成

事業計画書は全体で4ページの構成となっており、それぞれ以下の目的を持たせております。

- 1 ページ目：「誰が」 フェイスシートとして、会社概要等を記入してください。
- 2 ページ目：「何を」 ビジネスイメージとして事業計画の全体が一覧できるように事業をまとめてください。特にどのような事業なのか、どんな商品・サービスなのかを明確にしてください。
- 3 ページ目：「どのように」「いつ、どのくらい」 商品・サービスをどのように販売していくのかを中心に、具体的な行動計画と事業実績・計画を、損益計算書と資金計画の具体的な数値として記入してください。
- 4 ページ目：「その他特記事項」として、商品・サービスの写真や概要図、事業の補足説明等を記入してください。

## II. 各項目の記載要領

(事業計画書 1 ページ目)

### 事業計画書(例)

#### 1 事業名等(今回の申請事業)

- ・事業名 事業名を1行(30字以内)で表現してください。
- ・事業概要 今回申請する新規事業の概要を簡潔に記入してください。(50~100字以内)

事業名	(30字以内)
事業概要	(50字~100字)

#### 2 応募資格

- ・該当する欄にチェック(✓)してください。
- ・協力機関の推薦の場合は協力機関名を、県の創業支援施策等の利用の場合は施策名を記入してください。
- ・詳細は募集要項第3(P2)にてご確認ください。

応募資格	(1) 協力機関の推薦	協力機関名:
	(2) 県の創業支援施策等の利用	施策名:

#### 3 会社概要

- ・御社の企業概要を記入してください。原則として、提出日現在のデータに基づいて記入してください。

会社名	〇〇〇〇〇〇〇株式会社			設立年月	平成15年7月
代表者名(役職・氏名)	代表取締役 〇〇 〇〇			資本金	10,000千円
住所	〒650-0044			発行済株式数	2,000株
	神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号			発行株価	500円/株
担当者(役職・氏名)	専務取締役 〇〇 〇〇			業種	〇〇〇製造業
電話番号	TEL	〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		主要な商品 (サービス等)	〇〇〇〇機械 〇〇〇〇装置
	FAX	〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇			
E-Mailアドレス	〇〇〇@〇〇〇〇				
従業員数	社員	7名	パート等	10名	

会社略歴	・会社略歴は、創業設立時から経営上重要な事業内容、新製品の発売、事業所の設置等を記入してください
既存事業の概要	・既存事業の概要は、申請事業以外の既存の事業がある場合に記入してください。
経営理念 ビジョン	・経営者の経営理念、経営ビジョン等を記入してください。
経営者 プロフィール等	・経営者のプロフィール等については、経歴やこの事業に関連する経験・能力・資格等を記入してください。

#### 4 取引状況等

- ・主な取引先（販売先・仕入先）をそれぞれ上位2社程度記入してください。
- ・株式を発行している場合、株主の状況を上位2者程度記入してください。
- ・「公的支援」の欄は新産業創造プログラム、産学連携、第二創業・新分野進出、生活・サービス産業創出等の補助制度等の認定を受けた場合に、その事業名称及び認定時期を記入してください。
- ・「活性化センター」の欄は活性化センターによる投融資や各種支援制度の利用がある場合に、その内容及び利用時期を記入してください。
- ・「メイン銀行」の欄は取引のある金融機関等の名称を記入してください。
- ・財務状況については、過去3期分の売上高、経常利益、純資産の額を記入してください。

主な取引先 (上位2社)	販売先	比率	仕入先	比率
	〇〇〇〇社	30%	〇〇〇〇社	50%
	〇〇〇〇社	25%	〇〇〇〇社	20%
株主の状況 (上位2者)	株主名	所有株式数	所有割合	役員・会社との関係
	〇〇 〇〇	1,000株	50%	代表取締役
	〇〇 〇〇	500株	25%	取締役
外部機関との 取引状況	項目	有無	内容・取引先	
	公的支援	有・無	(平成18年4月：新産業創出支援事業補助金)	
	活性化センター利用	有・無	(平成16年3月：NECCS株式投資)	
	メイン銀行	有・無	金融機関名(〇〇銀行)	
財務状況 (過去3期分)		前々期(26年3月期)	前期(27年3月期)	直近(28年3月期)
	売上高	50,000千円	100,000千円	200,000千円
	経常利益	△5,000千円	10,000千円	25,000千円
	純資産	△10,000千円	0千円	15,000千円

#### (事業計画書 2ページ目)

#### 5 ビジネスイメージ図

- ・既存事業の概要 既存事業のうち、申請事業に活用する、もしくは、申請事業と関連する事業の概要を簡潔に記入してください。(50字~100字)
- ・既存事業の強み 既存事業の強みと課題について説明してください。  
既存事業の課題

既存事業(※) の概要	(50字~100字)
既存事業の強み	
既存事業の課題	

①事業名・事業概要

(事業名) 事業名は1ページ目の事業名と同じものを記入してください。(30字以内)  
(事業概要) 事業概要は1ページ目の事業概要と同じものを記入してください。(50~100字以内)

②地域事情や社会的背景

・事業が必要とされる地域の事情や社会的な背景や環境、ニーズ等を記入してください。

③事業開始の動機

・事業を開始するに至った動機や経緯を記入してください。

④商品サービスの内容

・実施する事業では「どのような商品・サービスを提供するのか」を明確に記入してください。

⑥競合状況

・事業に関する同種のサービス、類似品との競合状況について記入してください。

⑤応援者(潜在顧客)開拓・形成の必要性

・事業の展開に応援者(潜在顧客)が不可欠な存在である理由を記入してください。

⑦ターゲット市場(規模・動向含む)

・事業のターゲットは誰で、どんな時に利用や購入が見込まれるのかという観点からまとめて記入してください。  
・ターゲット市場の規模(対象エリア・顧客数等)と、その市場の動向(今後の成長性等)を記入してください。

⑧事業の特徴(強み等)

・商品・サービスの差別性(どこがちがうのか)、優位性(どこがよいのか)、利便性(どんなメリットをもたらすのか)の点から、事業の特徴や強みをまとめてください。

(事業計画書 3ページ目)

⑨この事業における専門スタッフや提携先について

・事業を担当する専門的スタッフや協力体制にある他社について記入してください。

⑩この事業に活用する地域の資源や特色、特別な技術やアイデア、知的財産権等、もしくは、この事業で解決を目指す地域等の課題について(募集要項 第5条 参照)

・この事業における御社の独自技術のことを記入し、また、特許、実用新案、意匠等の知的財産の出願権利がある場合には、その種類・出願番号を記入してください。

## 6 販売戦略（販売価格、販売ルート、販売方法、PR方法等）

- ・商品・サービスの販売価格について、顧客への標準販売価格、卸売価格等を具体的に示し、価格設定に関する方針についても記入してください。
- ・また、計画している販売ルート及び販売活動、マーケティング戦略、流通戦略についても記入してください。さらに、事業を潜在顧客にどのように知らせ、アプローチしていくのかを記入してください。

## 7 事業計画の進捗状況や問題点・リスクとその対応策

- ・事業計画の進捗状況や現在までの実績を記入してください。また、事業を遂行するうえで、ネックになると考えられている事項やリスク等があれば記入し、その対応策等を記入してください。

## 8 売上・利益の実績・計画

- ・過去3期の実績及び今後3期の計画を記入してください。
- ・売上については既存事業と申請事業とに分けて記入してください。  
なお、申請事業の売上に実績がなければ記入は不要です。

（単位：千円）

区 分	実 績			計 画		
	前々期 (平成27年 3月期)	前期 (平成28年 3月期)	直近 (平成29年 3月期)	第1年次 (平成30年 3月期)	第2年次 (平成31年 3月期)	第3年次 (平成32年 3月期)
① 既存事業の売上	50,000	100,000	150,000	170,000	200,000	200,000
② 申請事業の売上			50,000	100,000	150,000	250,000
③ 売上高（①+②）	50,000	100,000	200,000	270,000	350,000	450,000
④ 営業利益	△6,000	12,000	30,000	35,000	50,000	70,000
⑤ 経常利益	△5,000	10,000	25,000	30,000	45,000	60,000
⑥ 税引後当期利益	△5,000	10,000	15,000	20,000	30,000	40,000
⑦ 減価償却費	0	5,000	10,000	13,000	18,000	20,000

## 9 今後の資金計画

- ・資金需要
  - ⑧～⑪ 既存事業と申請事業別にそれぞれ設備資金・運転資金を記入してください。
  - ⑫ ⑧～⑪の合計金額を記入してください。
- ・資金調達
  - ⑬ 自己資金（代表者等関係者からの調達、自社の利益・減価償却などキャッシュフローによる捻出等）を記入してください。
  - ⑭ 金融機関等からの新規借入予定額を記入してください。
  - ⑮ 本事業により小口投資ファンドにて調達を目指す出資金の予定額を記入してください。
  - ⑯ ⑬～⑮の合計金額を記入してください。

※資金需要を満たすための資金調達が確保できるよう⑯合計 $\geq$ ⑫合計の関係が成り立つことを確認してください。

(単位：千円)

区 分		第 1 年 次 (平成 30 年 3 月期)	第 2 年 次 (平成 31 年 3 期)	第 3 年 次 (平成 32 年 3 月期)	
資金 需要	申請事業	⑧ 設備資金	10,000	0	0
		⑨ 運転資金	10,000	0	0
	既存事業	⑩ 設備資金	0	0	10,000
		⑪ 運転資金	0	0	0
	⑫ 合計 (⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪)		20,000	0	10,000
資金 調達	⑬ 自 己 資 金	5,000	0	5,000	
	⑭ 借 入 金 ( 融 資 )	5,000	0	5,000	
	⑮ 出 資 金 (小口投資) ※	10,000	0	0	
	⑯ 合 計 ( ⑬ + ⑭ + ⑮ )	20,000	0	10,000	

(事業計画書 4 ページ目)

10 小口投資調達資金の使途・想定する出資者への特典

- ・小口投資により調達した資金使途の内訳を記入してください。
- ・また、出資者へ提供可能な特典（物・体験等）も記入してください。

11 申請者メッセージ（申請事業の意義や、経営者としての思いなどを記載してください）

- ・申請事業の選考に際して伝えておきたい申請事業の意義や、経営者の思い等を記入してください。

12 その他の特記事項（商品・サービスの写真や概要図、事業の補足説明、PRポイント等）

- ・既存事業・申請事業の内容の補足説明、その他特にPRしたいことがあれば記入してください。
- ・また、商品・サービスの写真やイメージ図等もあれば、記入（貼付）してください。

◆ 補足事項

- ・事業計画書（様式2）の枠内に収まらない場合は、必要に応じて枠を拡張して記入してください。ただし、最大でも5ページ以内に収めてください。（パンフレット・チラシは別です）。
- ・事業計画書（様式2）を補完する企画書（自由様式）があれば任意にご提出ください。その場合、A4版・両面印刷、4枚以内、左肩1か所ホッチキス止めで提出してください。